

フロンティアからの経済学入門

-あらゆるものの裏側をみる学問-

山田知明

明治大学

2010年度 商学入門

フロンティアから
の経済学入門

山田知明

フロンティアからの
経済学入門

経済学の範囲

人間の行動に関する 2 つの
異なる意見

ノーベル経済学賞

経済合理性

インセンティブ

モラルハザード

アノマリー

リスクと不確実性

アニマルスピリット

経済学の使い方

市場を創る

リバタリアン・バターナリ
ズム

参考文献リスト

What is “Economics”?

フロンティアから
の経済学入門

山田知明

フロンティアから
の経済学入門

経済学の範囲

人間の行動に関する 2 つの
異なる意見

ノーベル経済学賞

経済合理性

インセンティブ
モラルハザード

アノマリー

リスクと不確実性
アニマルスピリット

経済学の使い方

市場を創る
リバタリアン・パターナリ
ズム

参考文献リスト

▶ 「経済学」とはどのような学問か?

1. 最適な資源配分 (Optimal Resource Allocation)

- ▶ たぶん「経済学 A・B」でやります

2. 人間の意思決定 (Decisions of Human Activities)

- ▶ 人はなぜ誤るのか?

Two Conflicting Views about Rational Behavior

フロンティアから
の経済学入門

山田知明

フロンティアからの
経済学入門

経済学の範囲

人間の行動に関する2つの
異なる意見

ノーベル経済学賞

経済合理性

インセンティブ
モラルハザード

アノマリー

リスクと不確実性
アニマルスピリット

経済学の使い方

市場を創る
リバタリアン・パターナリズム

参考文献リスト

- ▶ 経済主体(人間)は合理的か?
 - ▶ Yes!
 - ▶ 消費者は自分の満足度を最大化
 - ▶ 企業は利潤最大化
 - ▶ No!
 - ▶ 行動経済学 (Behavioral Economics)
 - ▶ アニマルスピリット (Animal Spirits) by J.M. Keynes
 - ▶ 「理性的でない」わけではない

- ▶ 正しくは、
 - ▶ アルフレッド・ノーベル記念経済学スウェーデン銀行賞
- ▶ 合理的な経済主体
 - ▶ 人的資本理論：ゲイリー・ベッカー (1992)
 - ▶ 合理的期待形成：ロバート・ルーカス (1995)
 - ▶ 実物的景気循環理論：キッドランド/プレスコット (2004)
- ▶ 2002年ノーベル経済学賞
 - ▶ 行動経済学：ダニエル・カーネマン
 - ▶ 実験経済学：ヴァーノン・スミス

▶ 経済学の中心命題

- ▶ 人間はインセンティブ(誘因)に反応する
- ▶ それ以外は付随的注釈 by スティーブン・ランズバーグ
- ▶ 例：インセンティブ給与

Incentive (cont.)

- ▶ 何故、選挙に行くの?
 - ▶ 市民の義務!
- ▶ でも、あなたの一票で勝ち負けは決まらないよ?
 - ▶ 僅差になるのは非常にレアケース!
 - ▶ 一票差で勝ち負けが決まる確率は奇跡的!!
- ▶ 一票差の例：アメリカ合衆国(過去100年間)
 - ▶ 州選挙：4万件中7件
 - ▶ 国政選挙：1万6000件中1回だけ!

Incentive (cont.)

フロンティアから
の経済学入門

山田知明

フロンティアからの
経済学入門

経済学の範囲

人間の行動に関する2つの
異なる意見

ノーベル経済学賞

経済合理性

インセンティブ

モラルハザード

アノマリー

リスクと不確実性

アニマルスピリット

経済学の使い方

市場を創る

リバタリアン・バターナリズム

参考文献リスト

▶ それでも投票に行くの？

1. 自分の一票が勝ち負けに左右すると、それでも信じている
2. すごく低い確率だけど、自分の投票が政策に影響を及ぼすのかも
3. 投票は市民の義務だから

Incentive (cont.)

- ▶ スイスでは郵送で投票が出来るようになった!
 - ▶ 便利!
 - ▶ 投票率がアップが期待できる!!
 - ▶ ...投票率は低下
- ▶ たぶん、投票は合理的な行動なのだろう
 - ▶ 「投票をしている自分を周囲に見せる」という意味で
- ▶ 投票行動のインセンティブはどこにある？

Moral Hazard

- ▶ 誤解される意味
 - ▶ × 「道徳心の欠如」
 - ▶ 「制度の悪用」
- ▶ 巨額の対外債務(借入)を抱える貧しい国
 - ▶ 貧困国の経済成長を阻害している!?
 - ▶ 債務放棄を要求(2000年)
 - ▶ Jubilee 2000
 - ▶ ボノ(U2)、ローマ法王、ダライ・ラマ etc.

Moral Hazard (cont.)

- ▶ 有効な政策だろうか?
 - ▶ HIPCs(Highly Indebted Poor Countries) イニシアティブ
 - ▶ 債務免除を予想する無責任な政府の行動は?
 - ▶ ちなみに、債務免除は何度も実行されている
 - ▶ 債務免除後も借入を行っている
- ▶ モラルハザードを引き起こす例
 - ▶ 金融機関の一律的救済
 - ▶ 過剰な所得再分配

Risk and Uncertainty

フロンティアから
の経済学入門

山田知明

フロンティアから
の経済学入門

経済学の範囲

人間の行動に関する 2 つの
異なる意見

ノーベル経済学賞

経済合理性

インセンティブ
モラルハザード

アノマリー

リスクと不確実性
アニマルスピリット

経済学の使い方

市場を創る

リバタリアン・バターナリ
ズム

参考文献リスト

- ▶ 「リスク」と「不確実さ」の違い
 - ▶ ナイト流不確実性 by フランク・ナイト
- ▶ 数学的期待値とサントペテルブルクの逆説
 1. コイントスをする
 2. 表が出たら n 回目には 2^n 円だけもらえる
 3. 裏が出たら全額没収
 - ▶ あならならこのゲームにいくら支払う?

Risk and Uncertainty (cont.)

- ▶ エルスバーグ・パラドックス
- ▶ 壺A(透明)
 - ▶ 赤い玉と黒い玉が50%の割合で入っている
 - ▶ 自分で当たりの色を指定
 - ▶ その色を引いたら賞金
- ▶ 壺B(中身が見えない)
 - ▶ 赤い玉と黒い玉が入っているが割合は不明
 - ▶ 自分で当たりの色を指定
 - ▶ その色を引いたら賞金
- ▶ どちらの壺から選びたい?

- ▶ 世界的金融危機
 - ▶ サブプライム・ローンというやつのせい
- ▶ 原因は?
 - ▶ 歪んだインセンティブ
 - ▶ 制度設計の誤りに伴うモラルハザード
 - ▶ 過剰なリスク・テイク
 - ▶ 注意：これだけではありません
- ▶ 繰り返すバブルの生成と崩壊
 - ▶ チューリップ狂事件(17世紀)

Animal Spirit (cont.)

フロンティアから
の経済学入門

山田知明

フロンティアから
の経済学入門

経済学の範囲

人間の行動に関する 2 つの
異なる意見

ノーベル経済学賞

経済合理性

インセンティブ
モラルハザード

アノマリー

リスクと不確実性
アニマルスピリット

経済学の使い方

市場を創る
リバタリアン・パターナリ
ズム

参考文献リスト

- ▶ 実験経済学によると、
 - ▶ 消費財市場：価格メカニズムはうまくいく
 - ▶ 資産市場；バブルが起こりやすい
 - ▶ 何度も売り買いをするから？
 - ▶ 自分が所持しているものの売値と買値は一致しない
- ▶ バブルを予測する事は困難

Reinvesting the Bazaar

- ▶ AIDSやマラリアと闘う
 - ▶ 毎日、5000人以上のアフリカ人がAIDSでなくなる
- ▶ 近年では、抗AIDS用の薬が開発
 - ▶ 年間で1万ドル以上の費用がかかる
 - ▶ マラリアの治療薬よりダイエット薬品の開発の方が盛ん
- ▶ マーケットの短所
 - ▶ 必要な人に必ずしも薬が行き渡らない
- ▶ マーケットの長所
 - ▶ 人命を救う薬を開発できた!

Reinvesting the Bazaar (cont.)

- ▶ 敵は製薬会社、病気、それとも貧困?
 - ▶ 90% 値引きをしても購入できないのは一緒
 - ▶ 薬を継続的に投与できる環境もそもそも揃っていない
- ▶ 現状
 - ▶ 製薬会社はエイズの治療薬を低価格で提供している
 - ▶ 製薬会社は、途上国から研究開発資金の回収をする事はどっちみち不可能なので、研究のインセンティブを阻害していない
- ▶ 開発途上国での新たな試み
 - ▶ マイクロ・ファイナンス

Libertarian Paternalism

- ▶ 自由主義 (Libertarian)
 - ▶ 個人の選択の自由を保証
- ▶ 温情主義 (Paternalism)
 - ▶ 個人の選択肢を狭める可能性

フロンティアから
の経済学入門

山田知明

フロンティアから
の経済学入門

経済学の範囲

人間の行動に関する 2 つの
異なる意見

ノーベル経済学賞

経済合理性

インセンティブ
モラルハザード

アノマリー

リスクと不確実性
アニマルスピリット

経済学の使い方

市場を創る
リバタリアン・パターナリ
ズム

参考文献リスト

Libertarian Paternalism (cont.)

フロンティアから
の経済学入門

山田知明

フロンティアからの
経済学入門

経済学の範囲

人間の行動に関する 2 つの
異なる意見

ノーベル経済学賞

経済合理性

インセンティブ
モラルハザード

アノマリー

リスクと不確実性
アニマルスピリット

経済学の使い方

市場を創る

リバタリアン・パターナリズム

参考文献リスト

- ▶ 行動経済学をどう政策に生かしていくのか?
 - ▶ 最適な学食のデザイン
 - ▶ フレーミング効果

- ▶ これっておなじ?
 1. どちらの政党に投票したいですか?
 2. どちらの政党に投票したくないですか?

Libertarian Paternalism (cont.)

- ▶ 合コンの費用(食事のコース)
 1. 2,500 円
 2. 3,500 円
 3. 4,500 円
- ▶ 制度設計に活用
 - ▶ 「ナッジ(Nudge)」

References

- ▶ スティーヴン・レヴィット/スティーヴン・ダブナー「ヤバい経済学[増補改訂版]」東洋経済
- ▶ ジョン・マクミラン「市場を創る」NTT出版
- ▶ 依田高典「行動経済学」中公新書
- ▶ マッテオ・モッテルリーニ「経済は感情で動く」紀伊国屋書店
- ▶ リチャード・セイラー/キャス・サンステイーン「実践行動経済学 健康、富、幸福への聡明な選択」日経BP